

∞ サムラング分校で臨時給食始まりました ∞

— 1月6日付CMBからのファックス（ノノイ神父）より—

HANDS の皆様のご協力により、サムラング分校で給食を始めました。近くのアトゥモロックでも、おやつ（ミリエンダ）を出せるようになりました。

サムラングでは、薪と野菜は自分達で用意し、調理も母親達が当番制で担当しています。大部分の子どもにとっておなか一杯食べるのは久しぶりだったのでしょうか。給食初日の彼らの満足げな顔はもちろん、その子どもたちを本当に嬉しそうに見守る父母の姿お見せしたかったと思います。

アトゥモロックではおやつ準備は5, 6年生の担当です。家庭科の調理実習をしながら栄養補給をはかろうというものです。材料はサツマイモ（カモテ）やキャッサバ等芋類が中心です。

— 同じく1月12日付ファックスより—

今日山から戻りました。サムラングでは、住民達が給食を暫定的なものでなくずっと続けていきたいとの希望がでて、そのための方法を話し合いました。いろいろな意見が出ましたが結局以下のように決まりました。

- a. 父母達で学校菜園用の畑を作る。
 - b. CMBは種子を供給するが、栽培は生徒を助けて父母が順番に面倒を見る。
 - c. 学校の畑から収穫された作物あるいは収益は、給食用以外には使わない。
- 治安悪化のためしばらく畑仕事を離れていた住民にとって、家族のためにそれぞれの畑の世話に集中すべき時ですが、2週間に1度は、学校菜園の労働奉仕をすることで合意しました。

・ ・ 今回、給食風景の写真撮るつもりが、カメラを借りるのを忘れしました。次回にします。

12月の通信で、「治安悪化でますます深刻になったサムラングの食糧不足に対し、臨時に学校給食を」と、会員の皆様に支援のお願いを致しましたところ、2月10日現在で、9名、合計212,000円のご寄付をいただきました（寄付は3月末まで受け付けさせていただきます）。おかげで、上記のように現地では給食が始まりました。皆様のご協力に心より感謝申し上げます。なお、給食風景写真は現時点で届いていません。次回にはご紹介できると思います。（山崎）



サムラング・コミュニティーセンター：左手が学校。中央がスタッフハウス。今回の抗争で一部住民は安全のためクリニックに集まって寝泊まりしたので、2人の教師の居場所がなくなり急遽コゴングラス葺きの小屋が建てられました。右手屋根だけ見えるのがクリニック。



ほとんど木の残っていないサムラングの山を背にして立つ篠原さん。この山を再び緑にという住民の願いに、HANDSも何らかの形で協力できたらと思っています。